

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	東1-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	<a href="http://www.oku.hc.uec.ac.jp/">http://www.oku.hc.uec.ac.jp/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p><b>【主題】</b></p> <p>1) ニュース記事や小論文を読み、その大意を把握する。 2) 1) で読んだ文章についての意見を、平易な英語表現を用いて書き、発表する。</p> <p><b>【達成目標】</b></p> <p>1) 英検準1級レベルの文章を読み、その大意を把握できる。 2) 述べたいと思うことを英検2級レベルの英語で書き、発表できる。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
<p>マーク・ピーターセン 『心にとどく英語』（岩波新書） 松本茂 『速読速聴英単語Core』（増進会出版社）</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

- ・ 4名前後のグループを作り、グループ毎にテーマ(トピック)を選び、必要なデータを収集し、調べた内容を要約し、内容への評価を行う。
- ・ 『速読速聴英単語 Core』から、コミュニケーションに役立つ表現を学ぶ。
- ・ (教室外) ALC NetAcademy や「リズム学習」: 言語自習室での学習。  
この学習は非常に重要です。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### 【成績評価方法】

- ・ 予習: 2割
- ・ 授業での発表: 3割
- ・ レポート: 2割
- ・ 試験: 3割

#### 【評価基準】

- ・ 上記達成目標に照らし合わせて行う。
- ・ 最低達成基準: 次のレベルに達している。
  - 1) 英検2級レベルの文章を読み、その大意を把握できる。
  - 2) 述べたいと思うことを英検準2級レベルの英語で書き、発表できる。

### 【オフィスアワー: 授業相談】

月・火5限: 言語自習室(F101)で、主に英語学習の相談を受けます。

### 【学生へのメッセージ】

#### 1) キャッチフレーズ

- ・ 使わなければものにならない。
- ・ If not now, when? If not here, where?  
(今なくて、いつ? ここでなくて、どこで?)

#### 2) 学びの結果として、TOEIC試験(990点満点)で次の達成を。

- 【1年前期末】500点 【1年後期末】550点
- 【2年前期末】600点 【2年後期末】650点
- 【3年前期末】700点 【3年後期末】750点

### 【その他】

前期からの継続受講を強く望みます。